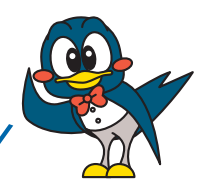




ISHIZAKA GROUP

<http://www.ishizaka.gr.jp/>



石坂グループ  
環境活動レポート 2009





## 環境方針

私たち石坂グループは、

リサイクル事業及び廃棄物処理事業を通じ、

業界のリーディングカンパニーとして、

地域・社会の環境保全への取組みをサポートし、

環境に責任の持てる企業として有益な環境活動を追及いたします。

- 1 取扱品目全般において、環境負荷の軽減、エネルギーの知的利用の促進、コスト削減の追及を実施し、最適な企業活動を目指します。
- 2 事業活動の定期的見直しを実施し、継続的改善・汚染の予防・環境負荷の軽減を第一に事業活動を実施いたします。
- 3 環境企業として、子供達の環境教育を積極的に実践し、施設の一般公開・情報の開示を推進いたします。
- 4 当社において、有効資源の活用・確保を推進し、最終処分廃棄物の削減、有効利用の促進につなげます。
- 5 環境関連法規及び、同意したその他の要求事項を、すべて順守し、業界のレベルアップ・モラルの向上を目指します。
- 6 この環境方針は、当組合の環境活動の指針として全従業員に周知し、関連する一般の方すべてに公開致します。



## 事業概要

### ● 名称

有価物回収協業組合 石坂グループ

### ● 所在地

本 社 工 場：熊本県熊本市戸島2874番地  
 大津事業所：熊本県菊池郡大津町杉水3746番地  
 西部事業所：熊本県熊本市上代7丁目28-11

### ● 代表理事

代表理事 石坂孝光

### ● 設立

設 立 昭和54年5月24日

### ● 出資金

出資金 7,000万円

### ● 事業内容

- 有価物（製鋼原料、製紙原料、各種非鉄、ガラススラット、RPF、再生樹脂等）の回収・販売
- 一般廃棄物の収集運搬、リサイクル、処理
- 産業廃棄物の収集運搬、リサイクル、処理
- 廃棄物リサイクルに関するコンサルティング

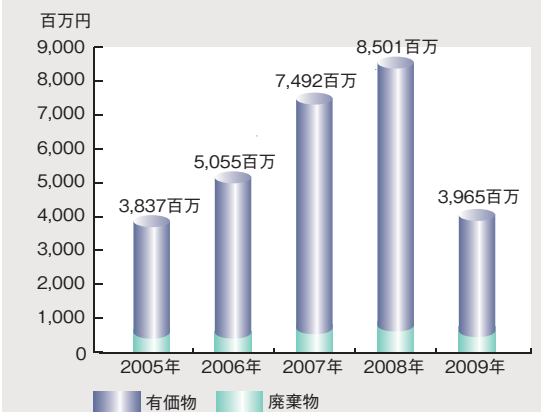
### ● グループ会社

(有)アイワ有価物処理企業 (有)石坂商店 (有)辻崎商店  
 (有)再生資源リサイクルセンター (有)石坂容器

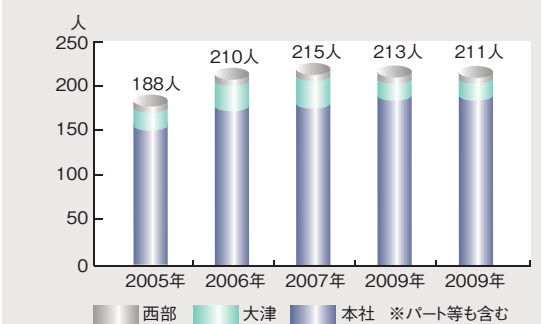
### ● 登録・許可

- 熊本県廃棄物再生事業者登録
- 熊本市リサイクル事業者認定
- 一般廃棄物処分業許可 熊本市、大津町
- 産業廃棄物処分業許可 熊本県、熊本市(優良性評価制度適合確認済)
- 一般廃棄物収集運搬業許可 熊本市・合志市・菊池市・大津町・益城町・菊陽町
- 産業廃棄物収集運搬業許可 熊本県・福岡県・佐賀県・大分県・鹿児島県・山口県・熊本市・福岡市・北九州市・大牟田市・久留米市・大分市・鹿児島市
- 自動車リサイクル法 ● 引取業者登録 ● フロン類回収業者 ● 登録解体業許可 ● 破碎業許可
- 古物商許可
- 解体工事業登録
- 計量証明事業(質量)

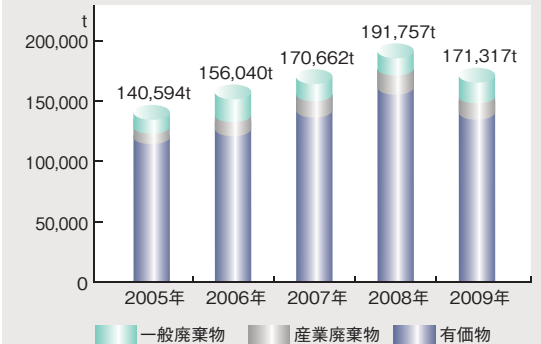
●グループ全体の売上げ



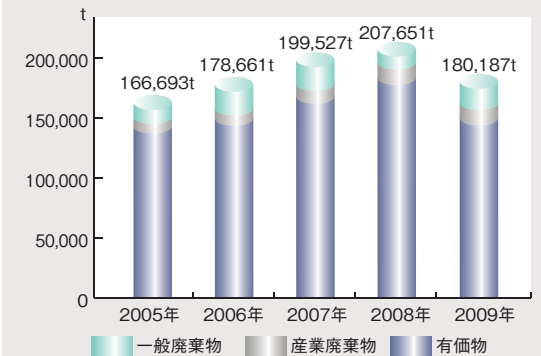
●グループ全体の従業員数



●収集運搬量



●中間処理量





(平成21年1月現在)



# 石坂グループについて

## 委託事業部

- 熊本市あきビンあき缶選別加工事業
- 熊本市ペットボトル選別加工事業
- 各市町村資源物・不燃物選別加工事業
- 一般・産業廃棄物の再資源化業務
- 一般・産業廃棄物の適正処理
- 熊本市大型ゴミ選別資源化事業
- 災害ゴミ等の選別再資源化事業
- 環境美化センター等  
包括管理業務受託事業
- リサイクル施設運営管理業務受託事業



主要設備

- ビン・缶選別ライン
- PETボトル選別ライン
- 樹脂組成判別器
- PETボトルペーラープレス機
- スチール缶・アルミ缶プレス機
- ガラス破砕機
- 発泡スチロール溶融固化機

## 古紙部

- 資源物・古紙選別事業
- 廃プラスチック・その他選別事業
- 資源物・古紙加工事業
- 輸出業務
- 廃プラスチック加工事業



主要設備

- 古紙選別ライン
- 古紙大型梱包機
- ショベルローダー2台
- 磁選機
- ロードグラフ2台
- 6tフォークリフト

## 輸送部

- 普通車両による  
一般・産業廃棄物収集運搬事業
- 大型・特殊車両による  
一般・産業廃棄物収集運搬事業
- 委託収集事業および定期回収事業
- 車両・重機の整備事業



保有車両

- 15t車..... 8台
- 10t車..... 6台
- 8t車..... 3台
- 5t車..... 3台
- 4t車..... 25台

保有重機

- 3t車..... 15台
- 2t車..... 13台
- 軽トラック..... 4台
- 高所作業車..... 1台
- リフト..... 26台
- ショベルローダー..... 14台
- パワーショベル..... 12台
- スーパー..... 3台
- 破砕機..... 1台

合計..... 78台

合計..... 56台

## 営業部

- 行政・各種企業への営業
- リサイクル品の展示・販売
- リターナブルびん選別・保管作業

## 事業所

- 大津事業所



主要設備

- 古紙大型梱包機(ペーラー)
- RPF設備(固形燃料製造機)
- ラッピングマシン
- ショベルローダー2台
- アタッチメント式コンボ
- マグネット式コンボ
- フォークリフト5台
- 車両12台

- 西部事業所



主要設備

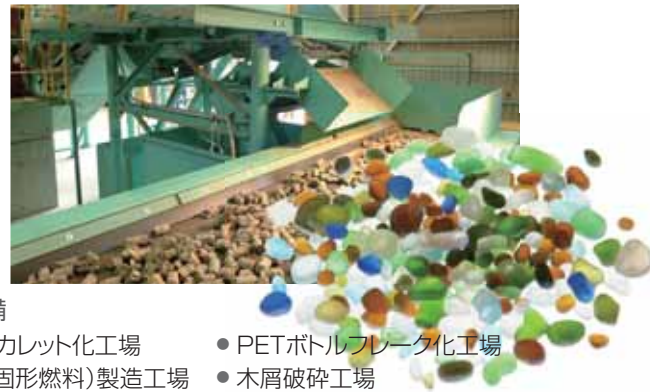
- 古紙大型梱包機(ペーラー)
- 巻取り切断機
- マグネット式コンボ
- フォークリフト3台
- 車両4台

## 事務局

- 計量・受付業務
- 備品管理・施設管理
- 人事・厚生業務
- クレーム対応
- 会計業務
- 帳票類作成・管理
- 契約書・マニュアルの作成管理

## 環境事業部

- ガラスびん再商品化・加工販売事業
- ペットボトル再商品化
- RPF製造事業・廃プラスチック  
マテリアル事業
- 廃木材再商品化・加工販売事業
- 経営企画・広報・Web管理
- 見学体験学習対応 プランニング



主要設備

- ガラスカレット化工場
- PETボトルフレーク化工場
- RPF(固形燃料)製造工場
- 木屑破砕工場

## 金属部

- 鉄切断・加工販売 中古鋼材販売
- 冷媒回収
- 自動車リサイクル処理
- 金属屑破砕加工
- 非鉄加工販売 中古鋼材販売



主要設備

- 800AK型ギロチンプレス
- シュレッダープラント
- フロン回収機
- エアバック処理機
- 大型プレス機1基
- プラズマ切断機
- アリゲータープレス機2基
- シャーリング2基
- ナゲットプラント
- マグネット式コンボ
- ガット式コンボ
- 解体用ニブラ2台
- クロー式コンボ
- ショベルローダー
- フォークリフト2台



# 環境マネジメントシステム

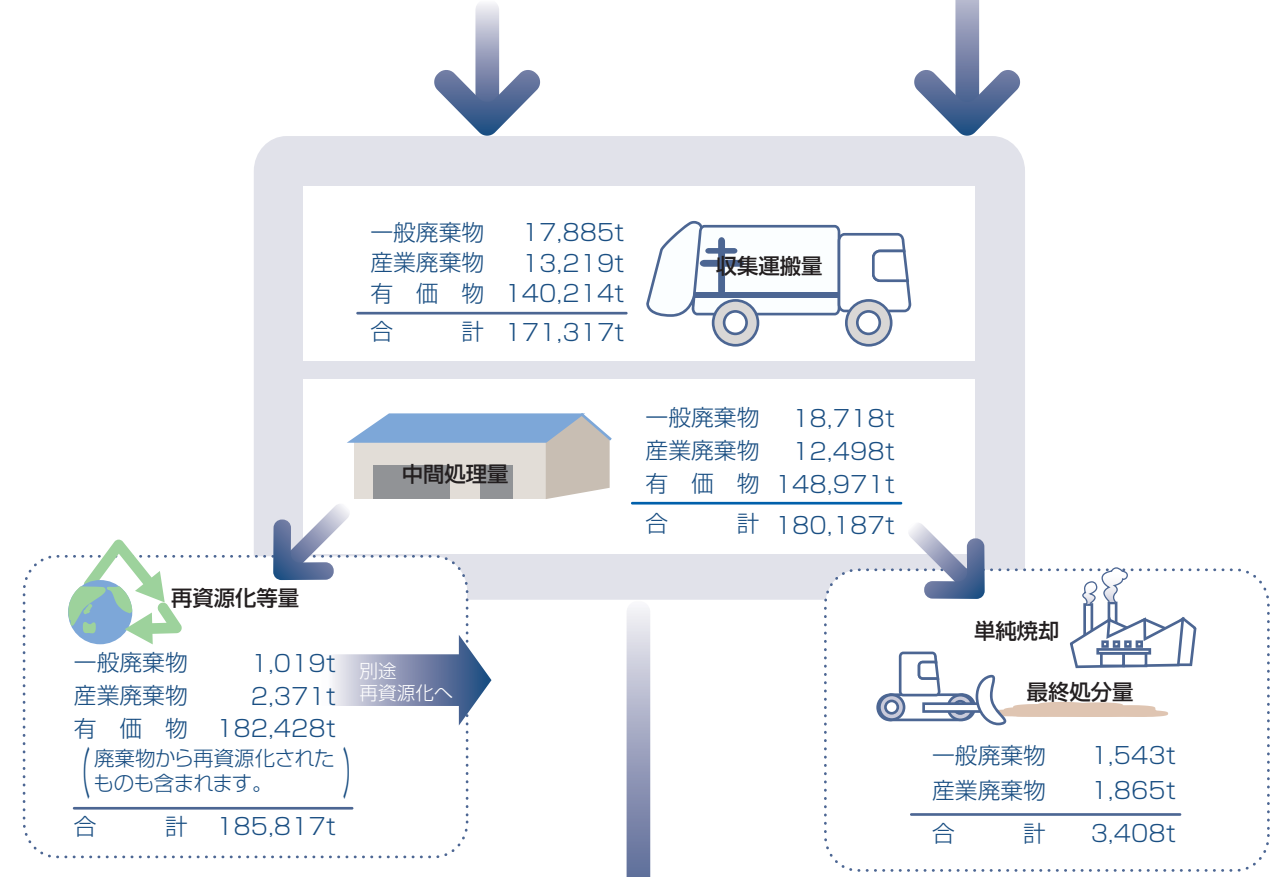
石坂グループは、本社工場にて、2001年度にISO14001の認証を取得しました。  
 また、環境保全の一端を担う企業として、石坂グループ全体の環境負荷を把握し、更なる環境への取組や意識の向上をはかるため、2006年度から本社工場に大津事業所及び西部事業所を加えた石坂グループ全体でエコアクション21(EA21)の取り組みをスタートし、2007年度に認証を取得しました。  
 エコアクション21の取組体制は、本社工場ですでに構築しているISO14001の環境マネジメントシステムをベースにしています。

## 環境マネジメントシステム組織図



# グループ全体の物質収支

エネルギー投入量 (単位: MJ)			上水使用量 (単位: m <sup>3</sup> )	
	電気	化石燃料	合計	水使用量
本社工場	20,888,121	7,442,003	28,330,124	6,453
大津事業所	4,740,753	1,549,744	6,290,497	1,086
西部事業所	762,140	715,707	1,477,847	330
車両	—	16,168,001	16,168,001	—
合計	26,391,014	25,875,455	52,266,469	7,869



CO <sub>2</sub> 排出量 (単位: Kg-CO <sub>2</sub> )			
	電気	化石燃料	合計
本社工場	803,226	507,640	1,310,865
大津事業所	182,299	105,740	288,039
西部事業所	29,307	48,916	78,223
車両	—	1,109,218	1,109,218
合計	1,014,832	1,771,513	2,786,345



# 環境目標と実績

## 地球温暖化防止のために

工場及び車両による「二酸化炭素排出量」について、2009年度は、工場は環境目標を達成できませんでしたが、車両は環境目標を達成できました。

工場の環境目標が達成できなかったのは、基準年である2008年度に比べ、RPF(廃棄物固形燃料)プラントとPETフレーク破碎・洗浄プラントの稼働時間が増えたためです。しかし、その分は、RPFを提供している工場の二酸化炭素排出量が減り、PETフレークを提供している工場の化石燃料(PET原料)の使用料が減っていると考えられます。

## 水資源保護のために

工場・車両の洗浄及び本社工場の処理工程の「上水使用量」について、2009年度は、環境目標を達成できませんでした。

## 循環型社会形成推進のために

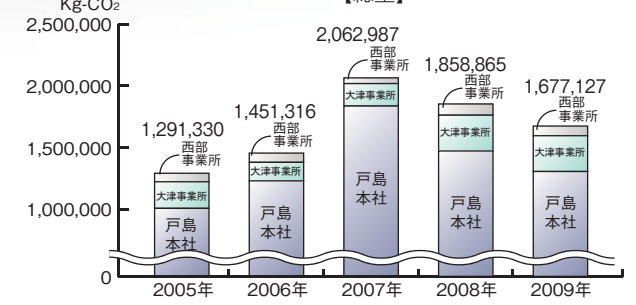
工場からの廃棄物等排出量の「リサイクル率」について、2009年度は、環境目標をわずかに達成できませんでした。

## 地域・社会貢献のために

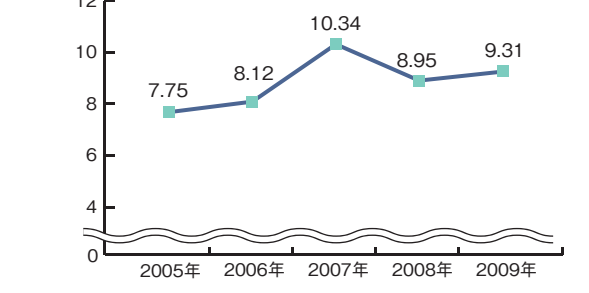
工場見学・体験学習者数について、2009年度は、環境目標を達成できました。

項目	単位	2008年度実績	2009年度		主な環境行動計画
			目標	実績	
二酸化炭素排出量 工場	総量	kg-CO <sub>2</sub> 1,858,865	—	1,677,127	<ul style="list-style-type: none"> <li>加工機械時間短縮及び切り替え運転の実施。</li> <li>作業終了時の機械のブレーカーオフの実施</li> <li>自家発電設備の使用停止。</li> </ul>
	中間処理量あたり	kg-CO <sub>2</sub> / t 8.95	8.86 (1%減)	9.31 目標非達成	
二酸化炭素排出量 車両	総量	kg-CO <sub>2</sub> 1,379,262	—	1,109,218	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイドリングストップの実施。</li> <li>急発進、急加速の禁止及び法定速度の厳守。</li> <li>省燃費運転講習会、メンテナンス向上研修会の実施。</li> </ul>
	収集運搬量あたり	kg-CO <sub>2</sub> / t 7.19	7.12 (1%減)	6.47 目標達成	
上水使用量	総量	m <sup>3</sup> 8,847	—	7,869	<ul style="list-style-type: none"> <li>場内配管等の漏水の有無の確認と補修。</li> <li>洗車時の雨水使用の促進と使用時間の短縮。</li> <li>節水強化月間の実施。</li> </ul>
	中間処理量あたり	m <sup>3</sup> /t 0.0426	0.0422 (1%減)	0.0437 目標非達成	
廃棄物等排出量	再資源化等量	t 214,728	—	185,817	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正処理の推進による、リピーター・固定客の確保。</li> <li>排出先への廃棄物のリサイクル化への啓蒙啓発活動。</li> <li>廃棄物の分別及びリサイクル研修会の実施。</li> </ul>
	単純焼却最終処分量	t 3,797	—	3,408	
	リサイクル率	% 98.3	98.3 (現状維持)	98.2 目標非達成	
地域・社会貢献	工場見学・体験学習者数	人 2,690	2,325	2,412 目標達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政や学校に対し、工場見学等を受け入れていることを宣伝する。</li> </ul>

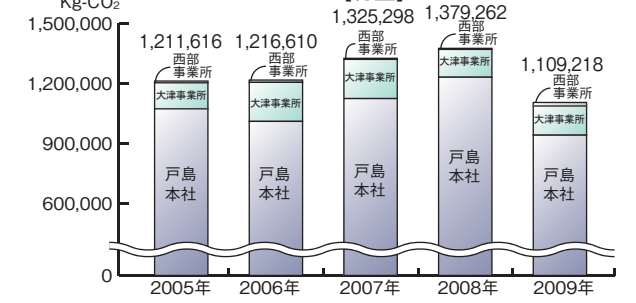
### CO2排出量(工場)



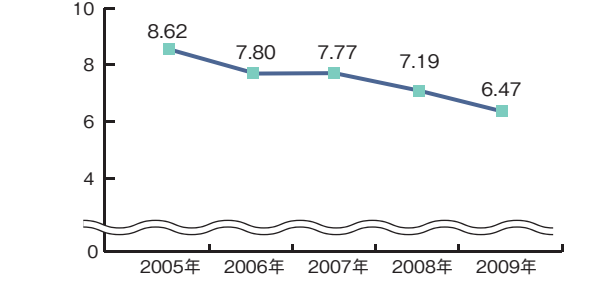
### CO2排出量(工場) 中間処理量あたり



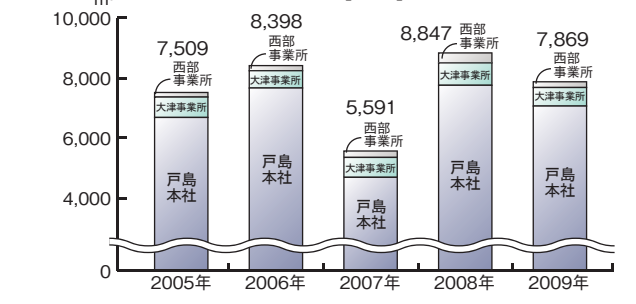
### CO2排出量(車両)



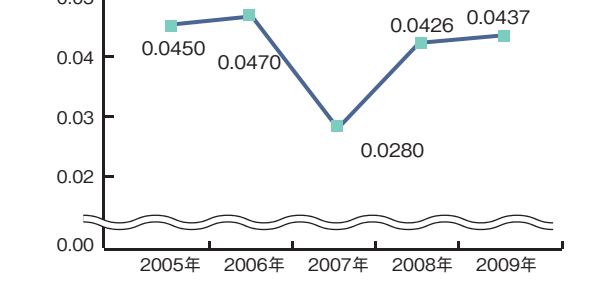
### CO2排出量(車両) 収集運搬量あたり



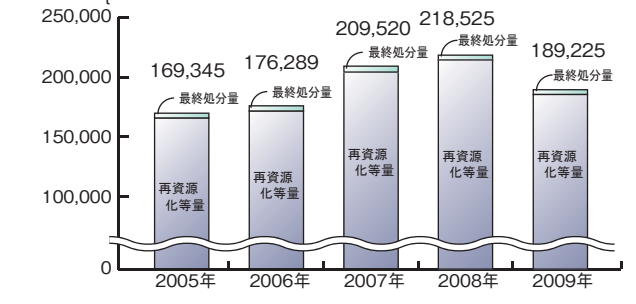
### 上水使用量



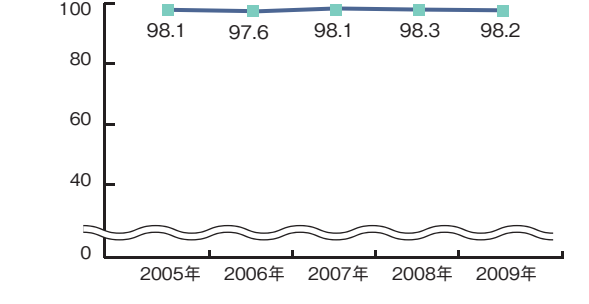
### 上水使用量 中間処理量あたり



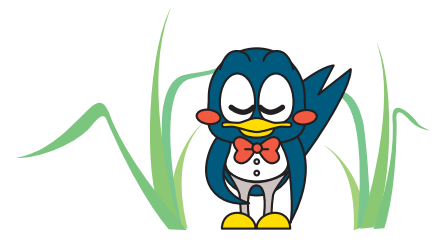
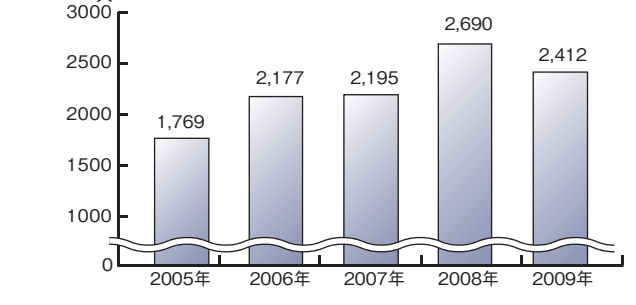
### リサイクル率



### リサイクル率



### 工場見学・体験学習者数





## 環境関連法規等の遵守状況

2009年度は、当社グループによる環境関連法規違反、環境に重大な影響を与える事故、訴訟等はありませんでした。



## 地域・社会貢献

### 工場見学・体験学習

地元地域、社会貢献活動として、工場見学や体験学習を積極的に受入れています。2009年度は、2412名の見学者・体験学習者を受け入れました。



### 第38回ヤクルト工場祭

2010年5月30日(日)ヤクルト熊本工場主催の『ヤクルトまつり2010』に出店いたしました。



### 紙すき体験

2009年11月1日(日)有明広域行政事務組合主催の『第10回東部リサイクルフェスタ2009』にリサイクル紙すき体験学習コーナーを出店いたしました。



## 社員教育・訓練

### 環境に関する教育

#### 一般教育 (管理者研修)

- ・環境方針及び手順並びに環境マネジメントシステムの要求事項に適合することの重要性
- ・作業活動による顕在又は潜在の著しい環境影響及び各人の作業改善による環境上の利点
- ・環境方針及び手順との適合、並びに緊急事態への準備及び対応の要求事項を含む環境マネジメントシステムの要求事項との適合を達成するための役割及び責任
- ・規程された運用手順から逸脱した際に予想される結果

#### 力量教育 (従業員研修)

- 著しい環境側面に関する業務を適切に実施運用するための技能
- 部門専任者訓練**
  - ・規程された運用手順から逸脱した際に予想される結果
- 内部監査員研修**
  - ・環境マネジメントシステム監査に必要な知識・技術の習得
- 専門技術者講習**
  - ・業務上取得が必要な技能講習、免許、資格



#### ◆ 本レポートについて ◆

- 2010年9月発行 第4版
- 対象取組期間/2008年12月~2009年11月
- 編集担当者/EA21事務局 草野哲示、益永葉留奈